

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第1区分

【発行日】平成22年3月11日(2010.3.11)

【公開番号】特開2007-250536(P2007-250536A)

【公開日】平成19年9月27日(2007.9.27)

【年通号数】公開・登録公報2007-037

【出願番号】特願2007-36074(P2007-36074)

【国際特許分類】

H 01M 4/02 (2006.01)

H 01M 10/05 (2010.01)

H 01M 4/04 (2006.01)

H 01G 9/058 (2006.01)

【F I】

H 01M 4/02 D

H 01M 10/40 Z

H 01M 4/04 A

H 01G 9/00 301A

【手続補正書】

【提出日】平成22年1月25日(2010.1.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

集電体と、前記集電体上に形成されたリチウムイオンを吸蔵および放出可能な電極活物質を含む電極活物質層と、を有する非水電解質二次電池用電極板であって、

前記電極活物質層は、前記集電体の中央部に形成された第1の活物質層と、前記集電体の長さ方向の端部に形成され、前記第1の活物質層よりも薄い第2の活物質層とからなり

前記第2の活物質層の厚さは、前記第1の活物質層の厚さの0%以上、50%以下であることを特徴とする非水電解質二次電池用電極板。

【請求項2】

前記電極活物質層は気相法で作製された層であること、を特徴とする請求項1に記載の非水電解質二次電池用電極板。

【請求項3】

リチウムイオンを吸蔵・放出可能な正極活物質を含む正極板と、請求項1または2に記載の非水電解質二次電池用電極板からなる負極板と、セパレータと、から構成される極板群と、

リチウムイオン伝導性を有する電解質と、を含む非水電解質二次電池であって、前記極板群は、前記正極板と前記非水電解質二次電池用電極板とを前記セパレータを介して長さ方向に捲回または折り畳んで構成されていること、を特徴とする非水電解質二次電池。